



8月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
				にっちゅうかいき 日中会議		
14	15	16	17	18	19	20
	工賃日					
21	22	23	24	25	26	27
かいぎ ホーム会議						
28	29	30	31			
	体験旅行 3班					

8月14日、15日はお盆ですが通常通りの出勤日です。お間違いない様にお願いします。

「救える命」が救われるとりくみ

ホームファイト。ここでは、ひとりひとりの笑顔と幸せが大切にされ、心のぬくもりが絆となって織り成す場所。お互いが支え合い、心地よい時間が静かにゆっくり流れる場所——それが私たちのホームファイトでありたいと願っています。私たちの取り組みは、ただ一つ。健康を第一に考えること。毎年、利用者や職員の皆様には健康診断を行っています。その中でも特に40歳以上の皆様には胃カメラ・大腸検査、女性の皆様には乳がん・子宮がん検診を実施しています。他の障がい者支援施設とは異なり、私たちは15年程前から積極的に乳がん検診を行ってきました。その始まりは、ピンクリボン活動を支える企業の(株)クロシード様、そして高木乳腺クリニックの高木医師とのご縁でした。高木医師がマンモグラフィーやエコー検査が可能な車でひなの家まで訪れ、利用者の皆様が検査を受ける姿は、私たちにとって大切な思い出です。15年の歳月が流れ、その間にも利用者や職員の方々のなかで「乳がん」と宣告される方がいらっしゃいました。しかし、その幸いなことに、早期発見が叶ったケースでありました。高木医師から頂いた言葉には、私たちのこの15年間の取り組みの意義が宿っていました。「ひなの家さんは、救える命を救われましたね。」「毎年、利用者さんに対して検診をされているおかげです。」その言葉を聞いた時私たちの心は、感慨深いものと同時に温かいものに包まれた感触を忘れません。これまでの取り組みを振り返り、改めて「教えるいのち」の大切さを再認識させられたのです。乳がん宣告をされた利用者様も「乳がん」を受け止めておられます。そして、私たち支援員は、これからも変わらず利用者様に寄り添い、検診や治療、すべてのサポートを惜しみなく提供してまいります。乳がんに限らず、癌に対して「早期発見・早期治療」が何よりも重要であること。乳がんの場合、ステージ1では100%の生存率、ステージIVでは38.8%の生存率とされています。利用者様は特に身体の異変や痛みなどを伝えることが苦手とする方がほとんどです。病気のなかでも、は目に見える時には手遅れとなる場合が多いと言われます。利用者様やご家族の健康を大切に、年に一度の検診をしっかり受けて頂きたいのです。「教えるいのち」はたくさんあります。だからこそ、私たちは全力でサポートする準備があります。女性の皆様方へのお願いです。乳がん検診・子宮がん検診の病院をご紹介します。どうか、一度足を運んでみてください。私たちが心からお待ちしています。

ひなの家新聞

令和5年
8月号
NO. 285



ひなの家は、皆様方の健康と幸せの為に、「教える命」を救うために努力し続けます。どうぞよろしくお願ひ致します。

参加した古賀さんの感想



ジブリの場合
いろいろな写真を撮りました。
車の中では、うたを歌ったりなどしました。
トトロはめっちゃかわいかったです。
ゆは「一ぱ」のおみくじを引いた結果は
末吉でした。(ニ、)。
おもしろい写真も撮りました。

古賀美空

日帰りバスハイク

7月14日に福岡市博物館で開催中の「鈴木敏夫とジブリ展」に行ってきました。「となりのトトロ」や「千と千尋の神隠し」等、映画の中に入って登場自分物の一人になったような気分になりました。湯ばあばのおみくじでは口の中のおみくじを恐る恐る引いては夏の暑さに打ち勝つように吉塚うなぎで、うなぎ定食を頂きました。行った時にはすでに行列ができており、待つこと1時間・・・普通に食べてもおいしいうなぎが、空腹も後押ししてさらに美味しく感じました。



体験旅行 in 大分・熊本

宿泊体験旅行の第1班は「ラムネ温泉と食べ歩きツアー」として、大分県の長湯温泉へ行きました。その前に九重町で季節の花々を楽しんだ後は、今回のメインである「タオの丘」で和太鼓の演奏！！イケメン達がの前ではくりやく えんぎ おんせん ゆ 迫力のある演技に感激しました。ラムネ温泉ではぬるめのお湯に、ゆっくりとつかり心も体もリフレッシュ！！帰りは阿蘇の門前横丁名物のばろっけ(馬肉のコロッケ)やソフトクリームの食べ歩き、そして旅の締めは阿蘇の名物「赤牛丼」。楽しい事、美味しいもの盛りだくさんの大満喫

